



平成28年8月28日(木)

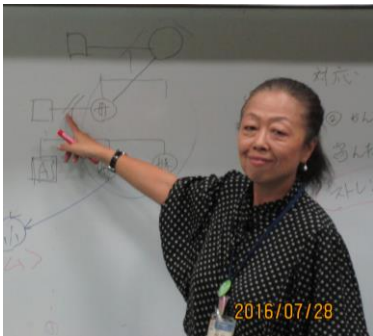
地域支援センターさくらぎセミナー

テーマ「SSWrから見た発達しょうがい児支援の現状と課題
～学校・保護者・関係機関等との連携～」

今年度のセミナーは、講師にスクールソーシャルワーカーの渡邊好子氏を迎えて講演会を開催しました。その後、2つに分かれて分科会を行いました。

講演

渡邊先生には、関係機関とつながって子どもとそこにかかわる関係者を支える、スクールソーシャルワーカーの役割についてご講演いただきました。「個人と環境に目を向ける」「見立てとプランニング」「子どもの利益の最優先」等、ソーシャルワーク的な視点のポイントや支援の流れについて、具体的な事例を通して教えていただきました。また、『ほめる』ことについても、「ほめる行動の種類やその効果」をわかりやすく紹介していただき、今後子どもと向き合う時のヒントをたくさんいただきました。渡邊先生のパワーあふれる話から、参加者みんなが元気になれる講演会でした。渡邊先生ありがとうございました。



【渡邊好子先生】

ワークショップを取り入れて下さり、参加者皆さんが打ち解けた雰囲気での講演が始まりました。



—参加者の感想より—

- ・学校と家庭だけでは解決困難なケースが増えている現状の中で、様々な対応の仕方や支援方法があることがわかった。
- ・2学期にどのようなかわりを持たばよいかたくさんのヒントを得ることができた。
- ・チームを組んでの対応の重要性がよくわかった。
- ・命令口調やネガティブな言葉を見直す良いきっかけになった。

分科会

分科会では、各自の日頃の悩みについて話が出ましたが、みなさんで意見交換をするにはもう少し時間が欲しかったところです。しかし、みなさんの話から「共感するところが多かった。」「少しずつでも前に進みたい。」との感想が聞かれました。



ご参加いただき、ありがとうございました。



2016/07/28